

HPVワクチン（子宮頸がんワクチン） 男性への接種を行っています。

★対象者

行田市に住民登録のある

小学6年生 から **高校1年生**

相当年齢にある **男性**

★接種回数・費用

1回 20,000 円（税込）。

※行田市の助成金 1 回 16,650 円あり。

3回接種。※接種完了までに約 6 カ月かかります。

男性の接種は、自身とパートナーを守ります。

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院



HPV ワクチン（子宮頸がんワクチン）男性への接種について

ヒトパピローマウイルス感染症とは？

ヒトパピローマウイルス（HPV）は、主に性行為によって感染するウイルスです。性行為を経験する年頃になれば、男女を問わず多くの人が HPV に感染します。ウイルスの遺伝子型は 200 種類以上あり、ほとんどは問題を起こしませんが、その一部は子宮頸がんのほか中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの疾患の原因になることが分かっています。

男性の HPV ワクチン接種の効果

男性がワクチンを接種することで、中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの原因と考えられている HPV への感染予防が期待できます。加えて、男性がワクチン接種による感染予防をすることで、性交渉による HPV 感染から女性を守り、子宮頸がんの予防にもつながる可能性があります。

① HPV 感染は性感染症である。

ヒトパピローマウイルス（HPV）は性的接触により感染します。性感染症の一種といっても過言ではありません。HPV はごくありふれたウイルスで、性交渉の経験がある女性のうち 50%～80% は、HPV に感染していると推計されています。性交渉を経験する年頃になれば、男女を問わず、多くの人が HPV に感染します。HPV に感染しても症状がないため、自己での予防は困難です。子宮頸がんの 95% 以上は HPV 感染が原因であることが分かっています。HPV 感染を性感染症と考えると、ここに男性も接種すべき理由があります。性感染症の治療の原則は、パートナーとともに一緒に治療することです。なぜなら、片方だけ治療しても、ピンポン感染によって広がっていくためです。女性の子宮頸がん予防に HPV ワクチンが有用であることが分かった現在、ピンポン感染を予防するため、男性も HPV 感染予防のためのワクチン接種が推奨されます。

② HPV ワクチンは尖圭コンジローマも予防する

男性が接種すべき理由のもう一つは、性感染症である尖圭コンジローマを予防することです。尖圭コンジローマは、発症してしまうと性感染症の中でも精神的ストレスの強い感染症です。また、発症すれば根治は困難で再発を繰り返してしまいます。ガーダシルは男性に対しても尖圭コンジローマへの高い予防効果を示されており、海外では男性に対しても接種が推奨されています。また、HPV は子宮頸がんだけでなく、男性に多い咽頭がんや肛門がん、直腸がん、陰茎がんの原因となることが分かっており、これらのがんの発症を予防することも示されています。

当院での接種方法

当院では、男性にも接種可能な 4 価ワクチンガーダシルの接種が可能です。

男性への接種は全額自費となります。当院での価格は 1 回 20,000 円（税込）です。

行田市の助成金 1 回 16,500 円が 3 回分受けられます（接種後 6 カ月以内にこども家庭センターに申請してください）。

接種をご希望の方はお電話（048-554-0005）にて接種日をご予約ください。

接種方法は筋肉内注射です。（新型コロナワクチンと同様の方法）接種後 30 分程度安静にさせていただきます。

接種回数は 3 回です。

接種間隔：1 か月以上の間隔をおいて 2 回注射した後、2 回目の注射から 3 か月以上の間隔をおいて 3 回目を注射します。

標準的な接種方法：2 か月の間隔をおいて 2 回注射した後、1 回目の注射から 6 か月の間隔をおいて 3 回目を注射します。

